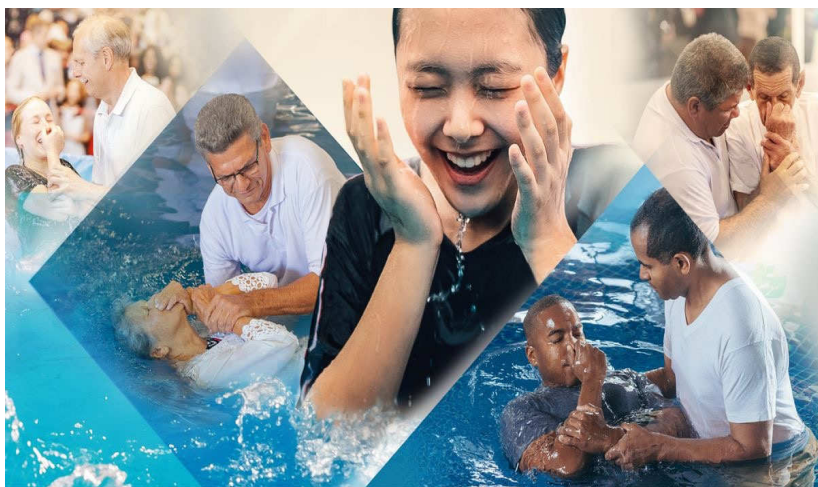


バプテスマに向けてできること

「私がバプテスマを受けられない理由が何かあるでしょうか」。使徒 8:36

50 番の歌 私の献身の祈り

何を学ぶか*バプテスマを受けるためには、正しい動機が必要です。それに加えて、正しいことを行う必要もあります。エチオピアの高官の例から、バプテスマを受けるためにどんなことができるかを考えていきましょう。



世界中で若い人も年配の人もバプテスマに向けて努力し、多くの人がバプテスマを受けている。(1-2 節を参照。)

1-2. バプテスマを受ける用意がまだできていないとしても、がっかりしないでよいのはどうしてですか。(表紙の写真を参照。)

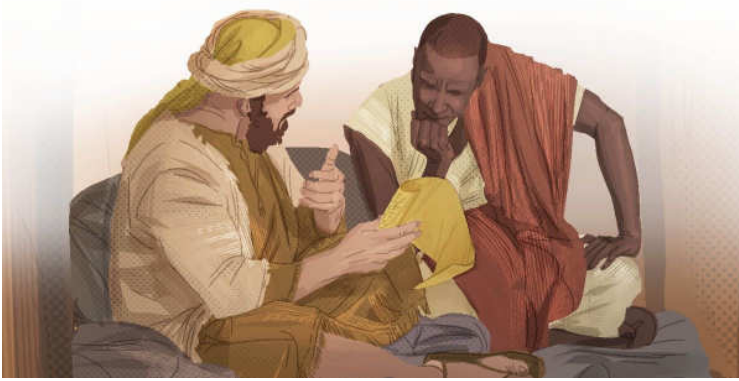
あなたはバプテスマを受けたいと思っていますか。それは素晴らしい目標です。自分はバプテスマを受ける用意ができていると思っていて、長老たちも同じように感じているなら、ぜひ次の機会にバプテスマを受けてください。エホバに仕える素晴らしい人生が待っています。

2 では、自分にはまだ準備ができていないと感じたり、もう少し努力が必要だと言われたりした場合はどうでしょうか。それでもがっかりしないでください。若くても年を取っていても、バプテスマに向けてできることがあります。

「受けられない理由が何かあるでしょうか」

3. エチオピアの高官はフィリポに何と言いましたか。どんな質問が生じますか。(使徒 8:36, 38)

3 使徒 8:36 道を進んでいくと、水がある所に来た。すると高官は言った。「見てください、水があります。私がバプテスマを受けられない理由が何かあるでしょうか」、38 高官は兵車を止めさせた。フィリポは高官と水の中に下りていき、バプテスマを施したを読む。エチオピアの高官はフィリポにこう言いました。「私がバプテスマを受けられない理由が何かあるでしょうか」。この人はバプテスマを受けたいと思っていました。では本当に準備ができていたのでしょうか。



エチオピアの高官は、エホバについてもっと多くのことを知りたいと思っていた。（4節を参照。）

4. エチオピアの高官が学び続けたいという意欲を持っていたことは、どんなことから分かりますか。

4 この高官は「**崇拜のためにエルサレムに行ってきた**」たところでした。（[使徒 8:27](#) **そこでフィリポが出掛けていくと、エチオピアの宦官がいた。エチオピアの女王カンダケの高官で、その財宝全てを管理する人だった。この人は崇拜のためにエルサレムに行ってきた**）ですから、この人は**ユダヤ教に改宗**していたのでしょう。ヘブライ語聖書からエホバについて学んでいたはずですが、それでも、もっと多くのことを知りたいと思っていました。フィリポと会った時、**イザヤ書の預言を朗読**していました。（[使徒 8:28](#) **その帰りに、兵車の中に座って預言者イザヤの書を朗読しているところだった**）聖書の基礎的な教えだけで満足するのではなく、**深い真理も理解したいと思**っていたのです。この記述から、**高官が学び続けたいという意欲を持**っていたことが伝わってきます。

5. エチオピアの高官は学んだことをどのように実行していましたか。

5 この人は**エチオピアの女王カンダケの高官**で、「**その財宝全てを管理**」していました。（[使徒 8:27](#) **その財宝全てを管理する人**）やるべきことがたくさんあって**忙しかったはず**です。それでも、**エホバを崇拜するためにきちんと時間を取**っていました。**真理を学ぶだけでなく、学んだことを実行**していました。実際、**エチオピアから神殿があるエルサレムまで、はるばる旅**をしてエホバを**崇拜**しました。これには**たくさんの時間と費用**がかかったはずですが、それでも**エホバを崇拜するために努力を惜しみません**でした。

6-7. 高官のエホバへの愛はどのように深まっていきましたか。

6 この高官は、**フィリポから大切な真理を幾つも教**わりました。その中には**メシアが誰か**ということも含まれていました。（[使徒 8:34, 35](#) **高官はフィリポに言った。「教えてください。預言者は誰について言っているのでしょうか。自分自身ですか、それとも誰かほかの人ですか」。35 フィリポは話し始め、この聖句を手始めに、イエスについての良い知らせを告げた**）この人は**イエスが自分のためにしてくれたことに感動**したでしょう。その後どうしたでしょう。ユダヤ教徒のままでいようとは思いませんでした。**エホバとイエスへの愛に動かされて、バプテスマを受けてイエスの弟子になるという大きな決断**をしました。**フィリポもこの人はバプテスマの資格にかなっていると考え、バプテスマを施**しました。

7 このエチオピアの高官に倣うなら、バプテスマに向けて準備を整えることができます。あなたも、「私がバプテスマを受けられない理由が何かある」でしょう。と言えるようになるでしょう。では、エチオピアの高官にどのように倣えるでしょう。3つの点を考えましょう。①真理を学び続けること、②学んだことを実行すること、③エホバへの愛を深めていくことです。

真理を学び続ける

8. ヨハネ 17 章 3 節はどんなことの大切さを教えていますか。

8 ヨハネ 17:3 永遠の命を得るには、唯一の真の神であるあなたと、あなたが遣わされたイエス・キリストのことを知る必要がありますを読む。イエスのこの言葉がきっかけで聖書を学んだ人は大勢います。あなたもそうかもしれません。でもこの聖句は、学び続けることの大切さも教えています。「唯一の真の神...のことを知り続ける必要」があります。（伝 3:11 神は全てを適切な時に美しくした(*に組織した/に整えた/に配置した)。神は人に、永遠を思う心さえ与えた。それでも人は、真の神の行いを決して知り尽くす(*を始まりから終わりまで決して知る)ことがない。ヨハ 17:3 永遠の命を得るには、唯一の真の神であるあなたと、あなたが遣わされたイエス・キリストのことを知る必要があります、脚注) エホバについて学ぶことに終わりはありません。エホバについて知れば知るほど、エホバをもっと愛するようになるでしょう。（詩 73:28 私にとって、神に近づくのは良いことだ。私は、主権者である主エホバのもとに避難した。その方の行い全てを知らせるために）

9. 聖書の基本的な教えを学んだ後も、どうする必要がありますか。

9 もちろん最初、エホバについての基本的な教えから学び始めます。パウロは「ヘブライ人のクリスチャンへの手紙」の中で、そうした教えを「基礎的な事柄」と言いました。とはいえ、パウロは「初歩の教理」を軽く見ていたわけではありません。赤ちゃんの成長に必要な乳に例えています。（ヘブ 5:12 皆さんはすでに教える人になっているべきなのに、神の神聖な宣言の基礎的な事柄を、もう一度初めから誰かに教えてもらう必要があります。そして、固い食物(*よくかんで食べる物)ではなく、乳を必要とする状態に逆戻りしています; 6:1 それで、私たちはキリストに関する初歩の教理より先に進んだのですから、十分に成長するように努力しましょう。基礎的な教えに逆戻りしては(d*再び土台を据えては)なりません。すなわち、むなし(d*死んでいる)行いを悔い改めること、神への信仰)でもパウロは、そうした基本的な教えだけで満足するのではなく、聖書の深い真理も学ぶ必要があると言いました。あなたは深い真理を意欲的に学んできましたか。エホバやエホバのお考えについて学び続け、成長していきたいと思っ

10. 勉強することについてどう感じている人もいますか。

10 勉強するのは苦手だと感じる人もいます。あなたはどうか。学校の勉強は好きでしたか。いろいろなことを学ぶのは楽しかったですか。それとも、読んだり学んだりするのがあまり好きではなかったのでしょうか。そうだとでも大丈夫です。最高の先生であるエホバが助けてくれます。

11. エホバが「偉大な教師」だと言えるのはどうしてですか。

11 エホバは、自分は「偉大な教師」であると言っています。（イザ 30:20, 21 エホバはあなたたちに苦難というパンを食べさせ、圧迫という水を飲ませる。とはいえ、あなたの偉大な教師はもはや姿を隠さず、あなたは自分の目で偉大な教師を見る。21 右や左にそれそうになる時には、後ろからあなたの耳に、「これが道である。この道を歩みなさい」という言葉が聞こえる）私たちのことをよく理解して、優しく辛抱強く教えてください。私たちの良いところに注目してくれます。（詩 130:3 ヤハ(*)よ、もしあなたが過ちに注目(*を記録)するなら、エホバよ、誰が立っていられるでしょうか）人間の脳を設計したエホバは、私たちにできないことまで求めたりはしません。（詩 139:14 私はあなたを賛美します。私は、驚くほどに素晴らしく造られているからです。あなたが行ったことの素晴らしさを、私はよく知っています）人間には学ぶ意欲も備わっています。エホバは学ぶことをいつまでも楽しんでほしいと思っています。それで、聖書の真理を「強く求める気持ちを育」むのは大切なことです。（ペテ 2:2 神の言葉にある、不純物のない(*純粋な)乳を、生まれて間もない子供のように強く求める気持ちを育んでください。その乳によって成長し、救われるためです）自分に達成できる目標を立て、聖書を読んで学ぶことを習慣にしましょう。（ヨシユ 1:8 この律法の書について語るのをやめて(d*書が口から離れて)はいけない。あなたはそれを昼も夜も小声で読ま(*思い巡らさ)なければいけない。そこに記されている全てのことを注意深く守るためである。そうすればあなた(d*あなたの道)は成功し、賢く行動できる）エホバが助けてくださるので、聖書を読んでエホバについて学ぶことがどんどん楽しくなっていくでしょう。

12. イエスについてじっくり学ぶとよいのはどうしてですか。

12 イエスの生き方や伝道について時間を取ってじっくり考えるようにしましょう。問題が多い今の世の中で、エホバに仕えていくためには、イエスにしっかり従うことが大切です。（ペテ 2:21 皆さんはこうした道に招かれました。キリストでさえ皆さんのために苦しみ、その歩みに皆さんがしっかり付いてくるよう手本を示しました）イエスは、自分に従う人たちがいろいろな問題にぶつかると言いました。（ルカ 14:27, 28 自分の苦しみの杭を選びながら私に付いてくる人でなければ、私の弟子になることはできません。28 例えば、塔を建てようと思う場合、まず座って費用を計算し、完成させるだけのものを持っているかどうかを確かめるのではないのでしょうか）でも、弟子たちが自分と同じようにエホバに仕えていくことができるということも確信していました。（ヨハ 16:33 これらのことを言ったのは、あなたたちが私によって平和な気持ちになるためです。あなたたちは世で苦難に遭いますが、勇気を出しなさい！ 私は世を征服したのです）イエスの生涯について詳しく調べ、毎日の生活でイエスに倣うよう努力しましょう。

13. 聖書を学ぶ時には、エホバにどんなことをお願いできますか。そうすることが大切なのはどうしてですか。

13 もちろん、知識を取り入れるだけでは十分とは言えません。エホバについてもっとよく理解し、エホバへの愛や信仰を強めていくことが大切です。（コリ 8:1-3 さて、偶像に捧げられた食物について取り上げます。私たちは皆、知識を持っています。知識は人を思い上がらせますが、愛は人を向上させ(*力づけます。2 自分はあることについて知っていると思う人は、本当に知るべきところまでは知っていません。3 しかし、神を愛している人は、神に知られています）学ぶ時には、信仰を強められるように助けてくださいとお願いしましょう。（ルカ 17:5 さて、使徒たちが主イエスに言った。「さらに信仰を与えてください」）エホバはその祈りに必ず答えてくださいます。エホバについての正しい知識を取り入れ、本物の信仰

を築くなら、学んだことを実行していくことができるでしょう。（ヤコ 2:26 生命力(*息)のない体が死んでいるのと同じように、行動が伴わない信仰も死んでいるのです）



ノアと家族は洪水が起きる前にエホバから教えられた通りに行動した。（14 節を参照。）

学んだことを実行していく

14. ペテロは学んだことを実行することの大切さをどのように教えましたか。（挿絵も参照。）

14 ペテロは、クリスチャンにとって学んだことを実行するのは大切だと教えました。ノアの時代の出来事を例にしてそのことを説明しています。エホバはノアに対して、大洪水で邪悪な人たちを滅ぼすと予告しました。ノアと家族は洪水が起きることを知っていただけで救われたわけではありません。ペテロは洪水の前に「箱船が建造され」と言っています。（ペテロ 3:20 その天使たちはノアの時代に不従順だった者たちです。その時代、神が辛抱して待っていた間、箱船が建造され、それに乗ったわずか8人（ギ語プシュケー）が水の中を通して救われました）ノアと家族はエホバから教えられたことに基づいて行動し、大きな箱船を建造しました。（ヘブ 11:7 信仰によってノアは、まだ見ていない事柄について神から警告された後、神への畏れを示し、自分の家族を救うために箱船を建造しました。そして、この信仰により世を断罪し、信仰のゆえに正しいと認められました）ペテロは、ノアがしたこととバプテスマを結び付けてこう言っています。「これに相当するものであるバプテスマ.....により、今皆さんは.....救われています」。（ペテロ 3:21 これに相当するものであるバプテスマ(*)（肉体の汚れを除くことではなく、健全な(*晴れ晴れとした/正しく機能する)良心を神に願い求めること）により、今皆さんはイエス・キリストの復活を通して救われています）ノアと家族は、洪水の前に何十年もかけて箱船を建造しました。バプテスマを目指している人も、その目標に向けて今できることがあります。どんなことでしょうか

15. 心から悔い改めているなら、どうするはずですか。

15 まず、自分の罪を心から悔い改めることが大切です。（使徒 2:37, 38 人々はこれを聞くと、心を刺され、ペテロやほかの使徒たちに言った。「皆さん、兄弟たち、私たちはどうしたらよいのですか」。38 ペテロは言った。「悔い改めなさい。そして一人一人、罪の許しのためにイエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、無償の贈り物である聖なる力を受けます）本当に悔い改めているなら、考え方や行動を改めるはずで、不道德な生き方やたばこ（麻薬・薬・心霊術の行い）や汚い言葉遣いなど、エホバが嫌うことを行っていたなら、それをやめましたか。（コリ 6:9, 10 正しくない人が神の王国を授

けられることはない、ということを知らないのですか。思い違いをして(*だまされて)はなりません。性的に不道德な人(*), 偶像を崇拜する人, 姦淫をする人, 同性愛行為に身を任せる人(同性愛行為において女役をする男性のことと考えられる), 同性愛にふける人(d*男性と寝る男性。同性愛行為において男役をする男性のことと考えられる), 10 盗む人, 貪欲な人, 酩酊する人, ののしる人, 脅し取る人が神の王国を授けられることはありません。コリ二 7:1
それで、愛する皆さん、私たちにはこのような約束があるので、体と精神のあらゆる汚れを除き去って自分を清め、神への畏れを抱いて神聖さを完成させていきましょう。エフエ 4:29 不快な(d*腐った)言葉を口から出してはなりません。その場に合った励ましの言葉を述べて、聞く人のためになるようにしましょう) もしまだであれば、やめる努力をぜひ続けましょう。聖書を教えてくれている人や長老たちに、悪い習慣をやめるためのアドバイスを求めることができます。若くて親と一緒に住んでいるなら、親に助けをもらってください。

16. エホバの崇拜にはどんなことが含まれますか。その習慣を守るためにどんなことができますか。

16 エホバを崇拜する良い習慣を守ることも大切です。例えば、集会に出席し、参加します。(ヘブ 10:24, 25 また、互いのことをよく考えて(*を氣遣って/に関心を払って)、愛を表し立派な行いをするよう勧め(*意欲を起こさせ/奮い立たせ)合いましょう。25 仲間と集まることを怠ってはなりません。よく欠席する人たちに倣わないようにし、いつも励まし合いましょう。定められた日が近づいているのですから(*のを見て)、ますますこうしたことを行っていくましょう) 伝道する資格を満たしたなら、定期的に参加しましょう。伝道すればするほど楽しくなって[でも会えないと駄目]いくでしょう。(テモ二 4:5 しかしあなたは、どんな場合にも頭がさえた状態(*鋭敏な感覚/冷静さ)を保ち、苦しみに耐え、福音伝道者として働き(*良い知らせを伝え続け)、自分の奉仕を十分に行いなさい) 若くて親と一緒に住んでいるなら、次のように考えてみてください。「自分はいつも親に言われて、集会や伝道に行っているだろうか。それとも自分から進んで行っているだろうか」。自分の意思で喜んで行うことで、エホバに愛や感謝を表し、信仰を示すことができます。そうするなら、「神への専心を行動に表し」、エホバに最善のものを捧げることになります。(ペテ二 3:11 これらのものは全てこのように溶解するのですから、自分がどんな人になるべきかを考えてください。聖なる振る舞いをし、神への専心を行動に表し。ヘブ 13:15 イエスを通して、絶えず神に賛美の犠牲を捧げましょう。神の名を人々に伝えて、言葉(d*唇の実)で神を賛美するのです) 誰かに強制されてではなく、自分から進んで行う時、エホバは喜んでくださいます。(コリント第二 9:7 一人一人が、嫌々ながらも強いられてでもなく、心に決めた通りに行ってください。神は快く与える人を愛されますと比較。) エホバに最善のものを捧げるなら、私たちも幸せを味わうことができます。

エホバへの愛を深めていく

17-18. バプテスマに向けて努力する上で大切なものは何ですか。どうしてそう言えますか。(格言 3:3-6)

17 バプテスマに向けて努力していると、いろいろな問題にぶつかることがあります。あざけられたり、反対されたり、迫害されたりするかもしれません。(テモ二 3:12) 悪い習慣をやめようと努力している中で後戻りしてしまうこともあるでしょう。自分がなかなか進歩していないように感じて、焦ったりイライラしたりすることもあり得ます。では、そういう時にも諦めないで頑張り続ける原動力になるのは何でしょうか。エホバへの愛です。

18 エホバへの愛ほど大切なものはありません。(格言 3:3-6 揺るぎない愛と忠実さ(*真実さ)を手放してはならない。それを首に結べ。心に書き記せ。4 そうすれば、神と人から好意を得、深い洞察力があると認められる。5 心を尽くしてエホバに頼れ。自分の考え(d*理解)に頼ってはならない。6 どんな道に行く時にも神のことを考えよ。そうすれば神が真つすぐに進ませてくださるを読む。) エホバへの強い愛があるなら、問題にぶつかってもエホバに仕え続けることができます。聖書によると、エホバはご自分に仕える人に揺るぎない愛を示す方です。それで、私たちを見捨てたりせずに愛を示し続けてくださいます。(詩 100:5 エホバは善い方。神の揺るぎない愛は永遠に続く。神の真実さはいつの時代までも変わることがない) 私たちはエホバに似た者として造られているので、エホバの揺るぎない愛に倣うことができます。(創 1:26 神は言った。「私たち(エホバとイエス)に似た者として人を造ろう。そして人に、海の魚、空を飛ぶ生き物、家畜、地面を動くあらゆる生き物を治めさせ、地球を世話させよう」) どのようにでしょうか。



エホバに毎日感謝を伝えるようにしましょう。(19 節を参照。)

* 写真や挿絵: エホバが与えてくださっているものについて、若い姉妹がエホバに感謝している。

19. エホバがしてくださったことへの感謝の気持ちをどのように強められますか。(ガラテア 2:20)

19 まず感謝の気持ちを持つことが大切です。(テサー 5:18 全てのことに感謝してください。これは、キリスト・イエスに従う皆さんに神が望んでいる事柄です) エホバが自分に対してどのように愛を示してくださったか、毎日考えるようにしましょう。そして具体的に感謝の祈りを捧げることができます。パウロと同じように、エホバがしてくださったことを自分個人に対する愛と考えるようにしましょう。(ガラテア 2:20 私はキリストと共に杭にくぎ付けにされています。もう自分のためには生きておらず、キリストと結び付いて生きています(d*生きているのはもはや私ではなく、私と結び付いて生きているキリストです)。人間としての今の命を、神の子への信仰によって生きているのです。神の子は私を愛し、私のために自分を差し出してくださいましたを読む。) では、私たちはエホバへの愛をどのように示せるのでしょうか。誘惑に遭ったり問題にぶつかったりしても、諦めずに頑張ることです。エホバを崇拝する良い習慣をしつかり守ることも大切です。

20. エホバに献身するとはどういうことですか。それはどれほど重要な決定ですか。

20 エホバへの愛が深まってくると、祈りでエホバに献身したいと思うようになるでしょう。献身した人には素晴らしい将来が待っています。いつまでもエホバの家族の一員であることができる

のです。献身は、順調な時にもそうではない時にもエホバに仕えていくことを約束することです。これは一度限りの誓約で、本当に大きな決定です。それでも、エホバに献身すること以上に良い決定はありません。（詩 50:14 感謝の気持ちを神への犠牲とし、至高者への誓約を果たせ）サタンは私たちのエホバへの愛を弱め、エホバに仕えることを諦めさせようとしてきます。でもサタンの思い通りにさせてはいけません。（ヨブ 27:5 あなた方を正しいと認めるなど私には考えられない！私は死ぬまで忠誠を貫く(*忠誠心を捨てない)！）エホバへの強い愛があるなら、献身の生き方を貫き、エホバとの絆をどんどん深めていくことができます。

21. バプテスマがスタートだと言えるのはどうしてですか。

21 エホバに献身したなら、バプテスマという次のステップについて長老たちと話し合ってください。でも覚えておきたい大切な点として、バプテスマはゴールではなくスタートです。その時から、エホバにいつまでも仕える人生が始まります。では、バプテスマを目指してエホバへの愛を毎日強めていくようにしましょう。そうするなら、バプテスマという目標を達成することができます。それは、新しい人生が始まる素晴らしい日になることでしょう。そして、エホバとイエスへの愛を永遠にわたって深めていくことができるでしょう。

バプテスマに向けて、以下の点で努力することが大切なのはどうしてですか

1. エホバについて学び続ける。

- ・ S08 人は、真の神の行いを決して知り尽くすることができないのに、ヨハ 17:3 には、唯一の真の神のことを知る必要について述べられている。エホバについて学ぶことに終わりはなく、エホバについて知れば知るほど、エホバをもっと愛するようになる。
- ・ S09 基本的な教えだけで満足するのではなく、聖書の深い真理も、エホバやエホバのお考えについても学び続け、成長していく必要がある。
- ・ S10-11 勉強するのは苦手だと感じて、エホバは、「偉大な教師」であり、私たちのことをよく理解して、優しく辛抱強く教えて、学ぶことをいつまでも楽しんでほしいと思っておられる。自分に達成できる目標を立て、聖書を読んで学ぶことを習慣にする。エホバが助けてくださるので、聖書を読んでエホバについて学ぶことがどんどん楽しくなる

2. 学んだことを実行していく。

- ・ S14 ノアと家族はエホバから教えられたことに基づいて行動し、大きな箱船を建造した。ペテロは、ノアがしたこととバプテスマを結び付けて、「これに相当するものであるバプテスマ…により、今皆さんは…救われています」と述べた。ノアと家族は、洪水の前に何十年もかけて箱船を建造した。バプテスマを目指している人も、その目標に向けて今できることがある。
- ・ S15 まず、自分の罪を心から悔い改めることが大切。聖書を教えてくれている人や長老たちに、悪い習慣をやめるためのアドバイスを求め、若い人は親に助けをもらえる。
- ・ S16 エホバを崇拝する良い習慣を守ることが大切で、集会に出席し、参加する。伝道する資格を満たしたなら、定期的に参加する。エホバを崇拝する良い習慣に自ら進んで参加し、エホバに最善のものを捧げるなら、私たちも幸せを味わえる。

3. エホバへの愛を深めていく。

・S17-18 バプテスマに向けて努力していると、反対、迫害、悪い習慣をやめられない、なかなか進歩できないように感じるなどいろいろな問題にぶつかることがある。そういう時にも諦めないうで頑張り続ける原動力になるのは、エホバへの愛。エホバへの強い愛があるなら、問題にぶつかってもエホバに仕え続けることができる。私たちはエホバに似た者として造られているので、エホバの揺るぎない愛に倣うことができる。

・S19 まず感謝の気持ちを持つことが大切で、エホバが自分に対してどのように愛を示してくださったか、毎日考えるようにし、具体的に感謝の祈りを捧げることができる。私たちはエホバへの愛を、誘惑に遭ったり問題にぶつかったりしても諦めずに頑張ることで、エホバを崇拝する良い習慣をしっかりと守ることで、示すことができる。

・S20 エホバへの愛が深まってくると、祈りでエホバに献身したいと思うようになる。献身は、順調な時にもそうではない時にもエホバに仕えていくことを約束することで、一度限りの誓約で、本当に大きな決定。でもエホバに献身すること以上に良い決定はない

135 番の歌 エホバの温かな呼び掛け 「わが子よ、賢く」 ありなさい

△ バプテスマを受けるためには、正しい動機が必要です。それに加えて、正しいことを行う必要もあります。エチオピアの高官の例から、バプテスマを受けるためにどんなことができるかを考えていきましょう。

△ 写真や挿絵: エホバが与えてくださっているものについて、若い姉妹がエホバに感謝している。

△ (使徒 8:36) 道を進んでいくと、水がある所に来た。すると高官は言った。「見てください、水があります。私がバプテスマを受けられない理由が何かあるのでしょうか」。

△ (使徒 8:36) 道を進んでいくと、水がある所に来た。すると高官は言った。「見てください、水があります。私がバプテスマを受けられない理由が何かあるのでしょうか」。

△ (使徒 8:38) 高官は兵車を止めさせた。フィリポは高官と水の中に下りていき、バプテスマを施した。